

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 20 日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02759

研究課題名(和文) ロシア語教育における基礎語彙コロケーションの研究

研究課題名(英文) A Study on the Basic Lexical Collocations in the Russian Language Education

研究代表者

秋山 真一 (AKIYAMA, Shinichi)

上智大学・外国語学部・准教授

研究者番号：90636276

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：日本で出版されている大学生向けロシア語入門および初級の教科書から例文をすべて抜き出し、その例文の中に見られる語の連なり(コロケーション)を計量的に分析できるようデータベースを作成した。

主な研究成果は国際学会での発表1本、研究論文10本(内、外国語で執筆されたもの4本)であるが、研究代表者・研究分担者が本研究期間中に教材をそれぞれ1冊ずつ執筆し、研究成果をそれらに反映させることができたことも大きな意義をもつと思われる。

研究成果の概要(英文)： We have created a database, containing all the Russian sentences from the textbooks of elementary- and basic-level Russian language textbooks. Analyzing the data from the database, you can overview the characteristics on the collocations in Russian sentences.

On this issue, we have made 1 presentations in an international academic conference and have released 10 papers (including 1 English and 3 Russian papers) in various journals. Moreover, the researchers had a chance to publish a textbook of Russian language, so that the result of our research is also reflected in the writing process of each textbook.

研究分野：現代ロシア語の統語論、コーパス言語学

キーワード：ロシア語教育 コロケーション コーパス言語学

1. 研究開始当初の背景

(1) ロシア語教育において日本人のロシア語力を向上させるための語彙研究は、語レベルからコロケーションレベルへと移行すべき時を迎えていた。ロシアの国家プロジェクトとしてスタートしたロシア語電子コーパス「ロシア・ナショナル・コーパス」も収録語彙数を大幅に増やして本格的な運用を開始していた。

(2) コンコーダンス分析ソフトの Sketch Engine というツールも登場し、ロシア語のコロケーション研究は格段な進歩を遂げる下地が揃いつつあった。

(3) ロシア語学習者の観点からすれば、読解に必要とされる露和辞典には良いものが揃ってきているものの、作文に必要な和露辞典には決定版と呼べるものがなく、それというのも、語法を網羅し解説するデータがないため、和露辞書を使った後に露和辞典で語法を確認するという手間をかけなくては良い作文ができない、という状況が続いている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、現代ロシア語のコロケーションを語結合（名詞＋動詞、動詞＋名詞、形容詞＋名詞など）レベルで電子コーパスやコンコーダンスソフトを用いて計量言語学的に分析できるよう、日本におけるロシア語入門・初級用教科書の例文を収集してデータベース化し、より効果的なロシア語力向上のための教材作成のためのデータを提供することにある。

3. 研究の方法

(1) 日本で入手可能な入門・初級用教科書 18冊を購入。それぞれの教科書を全ページ、スキャナーにかけ、OCR ソフトである Fine Reader を用いて例文を収集した。

(2) 収集した例文のデータはマイクロソフト社の表計算ソフト EXCEL でファイルを一元管理した。機械によるスペルチェックを行った後、スペリングのエラーや OCR 判読のミスなどについて、アシスタントの学生 3 名を雇い、すべて手作業でデータの修正を行った。修正作業後、研究代表者がデータのチェックを行った。

(3) 収集されたデータを Sketch Engine というコンコーダンスソフトを用いて分析すれば名詞を中心に据えた、形容詞＋名詞などのコロケーションや動詞を中心に据えた動詞＋名詞、副詞＋動詞などのコロケーションも計量的に分析できるようになっている。

(4) EXCEL のデータベースのデータについて、個別の要請があればファイルを無償で配布予定。近い将来、WEB 上で公開することも視野に入れている。

4. 研究成果

(1) 研究代表者および研究分担者、そしてリサーチアシスタントの作業を通じて、3 年間で日本で刊行されているロシア語入門・初級用教科書すべての例文のデータベースを完成させることができ、そのデータを用いれば Sketch Engine 等のコンコーダンスソフトを使ってコロケーションのデータを分析できるようになった。

(2) 本研究の成果であるデータを直接的・間接的に利用して、学会における研究発表 1 本、研究論文 10 本を発表することができた。

(3) 学会における研究発表と前後して行われたワークショップにて、研究代表者・秋山真一はコンコーダンスソフトである Sketch Engine の操作方法やデータベースの利用方法などの実践方法を習得することができた。このソフトの利用によって教科書から収集した例文のデータベースを効率的に分析できるようになった。

(4) 研究代表者・秋山真一は NHK ラジオ「まいにちロシア語」入門編を 2018 年 4 月から担当することになったが、そのテキスト執筆の際にコロケーションのデータを反映させることができ、有効活用することができた。

(5) 研究分担者・朝妻恵里子もまた著書として初級用教科書『ロシア語をはじめよう』を共著で 2017 年に発刊したが、その際、本研究におけるコロケーションのデータをテキスト執筆時に利用した。

(6) 英語教育におけるコロケーション研究は過去の膨大な蓄積を誇っているが、英語以外の外国語教育の一例としてロシア語教育を鑑みれば、コロケーション辞典はもとより、語結合を意識した語彙集さえ見つけ出すのは難しいのが現状である。オーラル・チャンクと呼ばれる「語と語のかたまり」を自由に操る能力が言語運用能力向上のカギとされる研究も相次いで発表されている昨今、英語以外の外国語教育におけるコロケーション研究は喫緊の課題であるわけだが、本研究の成果によりロシア語教育におけるコロケーション研究に一定の貢献ができたと考える。

(7) 本研究で作成したデータベースにより、現代ロシア語のコロケーションを語結合（名詞＋動詞、動詞＋名詞、形容詞＋名詞など）レベルで計量言語学的に分析し、より効果的なロシア語の語彙教育を目指すための情報

を提示することができるようになったと考
える。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に
は下線)

[雑誌論文](計10件)

堤正典「ロシア語教育におけるコロケー
ションと多義性に関する覚書」『ロシア語
学と言語研究 ロシア語教育における
基礎語彙コロケーションの研究』査読無
し. 第6号. pp. 5-15. 2018.

朝妻恵里子、ゴロウィナ・クセーニヤ「ロ
シア語の y + 生格にみられる「包括性」」
『ロシア語学と言語研究 ロシア語教
育における基礎語彙コロケーションの研
究』査読無し. 第6号. pp. 16-28. 2018.

Лаптева, М. Л. Синтаксическая идиома
как объект изучения (в аспекте
преподавания русского языка как
иностранный). 『ロシア語学と言語研究
ロシア語教育における基礎語彙コロ
ケーションの研究』査読無し. 第6号. pp.
29-41. 2018.

秋山真一「ロシア語研究」『新・言語研究
のすすめ 改訂版』査読無し. Vol. 1.
pp. 182-194. 2017.

堤正典「ロシア語動詞アスペクトにおけ
る『個別的意味』と多義ネットワーク」
『神奈川大学言語研究』査読有り. 第39
巻. pp. 21-40. 2017.

秋山真一「ロシア語学」『地域研究のすす
め ロシア・ユーラシア編』査読無し. Vol.
1. pp. 192-196. 2017.

朝妻恵里子、ゴロウィナ・クセーニヤ
「BECOME 言語という類型にみられる
日本語とロシア語の共通性」『慶應義塾大
学日吉紀要『言語・文化・コミュニケー
ション』』査読無し. 第47巻. pp. 1-14.
2016.

AKIYAMA Shinichi. A Corpus Analysis of
Russian Masculine Nouns with Plural /-i/
and /-a/ Endings. *Труды международной
конференции. Корпусная лингвистика*. 査
読有り. Vol. 1. pp. 5-13. 2015.

Кобаяси Киёси, Цуцуми Масанори.
Преподавание русской культуры
японским студентам, не изучающим

русский язык. *Русский язык и литература
в пространстве мировой культуры:
Материалы XIII Конгресса МАПРЯЛ*. 査
読無し. Vol. 10. pp. 483-487. 2015.

Цуцуми Масанори, Кобаяси Киёси. Роль
различных методических форм в курсе;
Страноведение России (из опыта одного
японского университета). *Евразийская
парадигма России: ценности, идеи,
практика: материалы междунар. науч.
конф. Улан-Удэ*. 査読無し. Vol. 1. pp.
96-98. 2015.

[学会発表](計1件)

AKIYAMA Shinichi. A Corpus Analysis of
Russian Masculine Nouns with Plural /-i/
and /-a/ Endings. Международной
конференции. Корпусная лингвистика-
2015. 2015/06/22 ~ 2015/06/26.
Санкт-Петербургский гос. университет,
Филологический факультет.

[図書](計2件)

西中村浩、朝妻恵里子『ロシア語をはじ
めよう』朝日出版社. 2017. 112頁.

秋山真一、八島雅彦『まいにちロシア語
4月号』NHK出版. 2018. 132頁.

[産業財産権]

出願状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

秋山 真一 (AKIYAMA, Shinichi)
上智大学・外国語学部・准教授
研究者番号：90636276

(2) 研究分担者

堤 正典 (TSUTSUMI, Masanori)
神奈川大学・外国語学部・教授
研究者番号：80281450

朝妻 恵里子 (ASADZUMA, Eriko)
慶應義塾大学・理工学部 (日吉)・講師
研究者番号：00744806

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

ラブチェワ, マリーヤ レオニードヴナ
(Лаптева, Мария Леонидовна)

佐山 豪太 (SAYAMA, Gota)